

大連市政治・経済情勢週報（平成28年4月30日～5月6日）

在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所

【政治】

28日：肖盛峰市長、在中国フランス大使と会見

28日、肖盛峰大連市長は在中国フランス大使（モーリス・グルードモンターニュ（Mr. Maurice Gourdault-Montagne））一行と会見し、経済・貿易、産業、文化等の分野における協力について意見交換を行った。会見には、在瀋陽フランス総領事（マーク・ラミ（Mr. Marc LAMY））が同席した。（30日付半島晨报 A02 面）

29日：大連市政府党組織（拡大）会議開催

29日、大連市政府党組織（拡大）会議が開催され、「両学一做」学習教育の展開に関する方案について審議・採択した。肖盛峰大連市長が会議を主宰し、激励の講話を行った。（30日付半島晨报 A02 面）

3日：大連市青年創業者座談会開催

3日、大連市青年創業者座談会が開催された。唐軍大連市党委書記が座談会に出席し講話を行い、大連市の全ての成年に対し「5.4 青年デー」の祝賀の意を表した。（4日付大連日報 1 面）

4日：肖盛峰市長、旅順口区を訪問し重点プロジェクトの進捗状況を視察

4日、肖盛峰大連市長は旅順口区各地を訪れ、重点プロジェクトの進捗状況に対する調査・研究活動を実施した。（5日付半島晨报 A12 面）

【経済】

29日：肖盛峰市長、中国科学院瀋陽分院の韓恩厚院長と会見

29日、肖盛峰大連市長は中国科学院瀋陽分院の韓恩厚院長一行と会見し、相互の交流協力の深化や自主イノベーションモデル区の建設等について意見交換を行った。（30日付半島晨报 A02 面）

4日：大連市政府、中国科学院と科学技術協力戦略取り決めに締結

4日、大連市政府は中国科学院と多分野にわたる科学技術協力戦略取り決めに締結した。中国科学院の白春礼院長（同党組書記）、唐軍大連市党委書記、肖盛峰大連市長らが署名式に出席した。（5日付半島晨报 A12 面）

5日：イノベーションと発展に関する報告会開催

29日、中国科学院の白春礼院長（同党組書記）をスピーカーに迎えたイノベーションと発展に関する報告会「大連講壇」が開催された。同報告会では、「新たな科学技術革命と産業変革のチャンスをつかえ、イノベーションを動力とした牽引型の発展を作り上げる」をテーマに、大連市幹部等600余名を対象に同院長による報告がなされた。唐軍大連市党委書記が報告会を主宰し、肖盛峰大連市長ら市幹部が出席した。（6日付大連日報 1 面）

5日：大連市、越境 EC ビジネス総合試験区の建設計画を発表

5日、大連市人民政府は記者会見を開催し、今年1月に国務院が正式に建設を許可した「越境 EC ビジネス総合試験区」の建設計画を発表した。当該計画によれば、同試験区は越境 EC と設備製造、観光、海洋文化、農産物、水産物等の分野を結びつけ、当地有力商品の競争力を高めること等を目標にしている。また、大連市は今後各地区に対し 13 の越境 EC ビジネス産業園区の建設を委託していく予定。(当事務所注：越境 EC(エレクトロニックコマース)とは、消費者がインターネットを通じて海外の商品を購入する国際的な電子商取引)。(6日付半島晨报 A05 面)

【社会・文化】

大連市の最低生活保障標準、7月から4%以上引き上げ

遼寧省政府弁公室が2日に発表したところによると、今年7月より、大連市の都市部における最低生活保障費は4%以上、農村部における最低生活保障費は7%以上引き上げられる予定。

(3日付半島晨报 A09 面)

大連外国語大学「東北アジア外交外事協同創新センター」が正式オープン

先日、大連外国語大学「東北アジア外交外事協同創新センター」が正式オープンし、国内外の専門家・学者ら 50 名余りが開業式典に出席した。当該センターは、同大学と中国外交部、遼寧省外事弁公室、清華大学国際戦略発展研究所、遼寧社会科学院、韓国アジア大学、山口大学、モスクワ国際関係学院などの大学・研究機関が共同で設立したもの。(3日付大連日報 3 面)

【日本関連報道】

5日：大連海事大学の実習船「育鯤」号、日本を初訪問

5日、大連海事大学の遠洋教育実習船「育鯤」号は日本側の招待を受け、初となる日本との交流活動を実施するために大連港を出港した。同大学の教師・学生 198 人及び国と地方の関係機関職員が同船に乗船した。学生らは日本到着後、東京海洋大学、神戸大学他 2 校と海洋技術、航海教育、留学生交換等の分野における交流活動を実施する予定。(6日付大連日報 2 面)

(注) 4月30日～5月6日の大連日報、半島晨报、大連晩報、新商報の記事をもとに作成。